

令和5年度第1回鮫川村まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議 会議録

日時:令和5年6月13日(火)

午後1時15分～午後2時30分

場所:鮫川村役場2階正庁

進行:村づくり推進室長

1. 開 会

予定の時間よりも少々早いのですが、ただいまから令和5年度 第1回鮫川村まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催させていただきます。

本日は御多用の折にもかかわらず、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

会議に先立ちまして、本会議委員の皆様のお出席状況をお伝えします。

芳賀篤徳委員、窪木浩一委員、我妻久美子委員、関根成人委員、関根巨樹委員、須藤尚紀委員は所用により欠席の連絡がありました。また、蛭田ノリ子委員は、所用により遅れると連絡を受けています。

なお、平日日中の開催ということもあり、会議に出席できない委員も多数いることを鑑みて、本会議から止むを得ない事情により会議に出席できない場合においても意見書の提出をもって出席として扱う旨、鮫川村まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱(以下、設置要綱)を改正しました。先ほど報告しました欠席の委員からは意見書の提出をいただいておりますので、本会議に出席されたものとみなし、本日、15名全員の出席とさせていただきますので、設置要綱第6条の規定に基づき、委員の過半数が出席しておりますので会議が成立しております。

2. あいさつ 鮫川村長 関根 政雄

いよいよ梅雨入りとなりました。村内の田んぼも青さを増した本日、日中の忙しい中、有識者の皆さんにはご出席を賜りありがとうございます。振興計画も9年目に入り、その中での重点施策まち・ひと・しごと創生総合戦略もあと2年を迎え、毎年評価を行っているところです。総合戦略は今年度から改訂の作業に入ります。

新しい総合戦略を決めなければならない大事な令和5年度と6年度であるため、村づくり推進室を設けました。この総合戦略の策定や、移住定住や公共交通など、さまざまな業務に取り組んでいく部署であります。

委員の皆さんには事前に質問を頂いて、私も目を通させていただきました。限りある財源でどのように実施していくか、総合的な計画に併せて実施していかなければなりません。特に中心地域の活性化につきましては、大きな事業として、教育施設・社会教育複合施設の整備・手まめ館の改修をどうするか。東京農大の力を借りて、ゾーン分けなどをし、整備してきた「館山公園」を含めて手まめ館をどのように有効活用していくか総合的に判断していきたいと考えています。

また、老朽化した教育施設の場所をどこにするか検討しなければなりません。村長就任当初、手まめ館の整備については一旦白紙にしました。今、県でまとまったお金が入る廃校利用に関する有利な話があります。全体的に大きな計画を策定し令和7年度からの新しい計画を描いていきたいと考えています。

現在、手まめ館の食堂が休業しています。民間の力を借りながら専門的な知見を頂きながら再開に向けて考えて行きたい。

本日は忌憚のない意見を頂き知恵の交換をしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいいたします。

(村長 所用により退席)

3. 新委員紹介

委員の自己紹介

4. 会長、副会長の選出について

自薦が無かったため、事務局案を提案し承認された。

会長 薄葉 正勝 委員、副会長 矢吹 靖弘 委員

(薄葉会長、会長席に移動)

5. 議事

【会長あいさつ】

会長に任命されました薄葉です。仕事柄、村に携わることが多い部分があります。皆さんと意見を交わしながら今後の村について考えていきたいと思えます。忌憚のない意見の交換をお願いします。

【会長】

この会議の趣旨は、昨年度の事業の取組、あるいは計画の進捗状況の評価をしていくこととなっています。円滑に進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いいいたします。

本日の会議録の署名人につきましては、事務局よりご指名してください。

【事務局】

石井 哲 委員、阿久津 光市 委員に承諾を得ています。よろしくお願いします。

(1) 鮫川村まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

① 効果検証について

【事務局:宇佐見】

今年度は対面による有識者会議ということもあり、改めて総合戦略の効果検証について資料1に基づいて説明。

また、計画策定時から令和4年度までの取り組みについて進捗状況をまとめた資料3を説明。さめがわファンクラブ会員数の伸びやコロナ禍において減少した鹿角平観光牧場利用者数などを抜粋して説明。

【会長】

総合戦略の効果検証とその方法について説明をいただきました。

これらを前提としまして、本日の議事に入っていきたいと思えます。

冒頭申し上げましたように、昨年度の取組や、その結果についての評価を行うことが本会議の趣旨です。

② 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和4年度 検証・評価・見直しシート(案)

【会長】

委員の皆様におかれましては、事前に意見を提出していただき、その内容を資料2にまとめてありますので、御参照いただければと思います。

今回、たくさんの意見をいただきました。時間も限られていますので、令和4年度検証・評価・見直しシート(以下、評価シート)の内容に関する意見を中心に事務局から読み上げて、その上で意見を提示された委員から必要があれば補足をしていただき、回答いただくという流れで進めたいと思っております。

全体に関わるような総括的な事項につきましては事務局から、個別事業の内容につきましては、担当課に回答をお願いいたします。

【会長】

まず1つ目、入江委員からの意見です。

(事務局が意見を読み上げる)

【会長】

入江委員、補足をお願いします。

(入江先生からの補足説明)

長く鮫川村とお付き合いさせていただいて、村民の方たちとお話をさせていただくなかで、村がもっている可能性、潜在能力としては、自然豊かな景観里山、源流域の環境を大切にすることがベースになると思います。それらを子ども達の教育に活かし誇りや自信に繋げていくような学びになれば、まだまだ村の魅力は発揮できるし、関係人口の創出に繋がると思われます。

【会長】

こちらにつきまして、多岐にわたっておりますので、①から③について担当課から回答をお願いします。また、流域連携に関する部分は事務局よりお願いします。

①:教育課 矢吹係長 見直しシート4ページの修正案について説明。

②:農林商工課 舟木課長

③:村づくり推進室 宇佐見

入江先生からの③番目の意見についての回答。資料2裏面の松崎委員からの②と重複する内容であるため、資料2に基づき説明。

【事務局:宇佐見】

流域連携について村づくり推進室より資料2に基づき説明。

【会長】

続きまして、石井委員からの意見です。

(事務局が意見を読み上げる)

【会長】

こちらにつきましては、担当課から回答をお願いします。

【担当課】地域整備課:齋藤課長

見直しシートの修正内容19ページについて説明。

【石井委員】

修正内容ついて了承。

【会長】

続きまして、松崎委員、窪木委員、阿久津委員からの意見です。

(事務局が意見を読み上げる)

【会長】

各委員からの意見は評価シートに対しての意見というよりは新たな提案や今後の取り組みについて期待するといった内容でした。本日会場におられる松崎委員と阿久津委員から意見についての補足はありますか。

【松崎委員、阿久津委員からの補足説明】

特にありません。よろしくお願いします。

【会長】

このことについて、事務局より回答をお願いします。

【事務局:宇佐見】

資料3をご覧ください。

資料3は総合戦略の8つのプロジェクトについて、進捗状況を一覧にしたものです。窪木委員の②番目の意見について、関連する項目として、観光資源の活用と交流・関係人口増加プロジェクトについて進捗状況をご説明します。

1つ目、さめがわファンクラブ会員数についてです。計画策定時の目標は300人としていましたが、開始年の令和3年度から500人の登録があり、目標をクリアしました。また、令和4年度に目標を1000人としたのですが、実績としては800人でした。毎年度登録者が増えているため、今後、こうした関係人口が村に訪れた際に村民も関わりながら切っても切れない関係を作っていきたいと思えます。

続いて、阿久津委員からウィズコロナに関する意見がありました。資料3の令和3年度の進捗状況を見てわかるように、前年比で下向きになっている項目、特に鹿角平観光牧場利用者数、村内宿泊施設利用者数についてはコロナ禍であったことが影響しています。令和3年度はほっとはうすが閉館し、「結び」が開業した時期でもあります。令和4年度の村内宿泊施設利用者数は上向きに転じています。そのほかの事業についてもコロナウイルスと共生しながら目標値に向かって各事業に取り組んでいく必要があります。

続いて、阿久津委員からの③の意見や薄葉委員からの②に関連する部分について、評価シートのP5に記載されています。こちらに記載されている取組の他に、令和4年度においては農機具マッチングや農業委員会では農地バンクの事業がはじまりました。農機具マッチングについては11件中3件成約の実績があります。農地バンクについては、登録者は3名、合計10筆の登録があります。詳細については村のホームページにも記載がありますが、補足などあれば農林商工課長をお願いします。

(農林商工課長から特に補足なし)

なお、各委員からいただきました意見については、関係部署へ情報提供し、今後具体的な取組を行う際の参考とさせていただきたいと思えます。ご意見として承りました。ありがとうございました。

【会長】

最後に私からの意見です。

(事務局が意見を読み上げる)

(薄葉委員からの補足説明)

JAでは毎年座談会を実施しており、3カ年計画などを作成している。そういった機会も利用してはどうかと思っている。若い人たちが興味を持つような内容の講演会も良いと思う。

中山間地域に対する補助制度については、時代に合わせて変化させていく必要が

ある。担当課を中心に検討していただきたい。

このことについて、事務局から回答をお願いします。

【事務局:宇佐見】

若い人達が村に愛着を持つには、鮫川村での生活が魅力的なものである必要があると考えられます。

令和3年末に庁内の若手職員で構成された移住定住・子育て支援プロジェクトチームが発足されました。人口減少に歯止めをかける心豊かな鮫川村の20年後のあるべき姿についてワークショップを行い、令和5年4月末に職員を対象に提言発表会を開催しました。

(移住定住、子育て支援リーフレット スライド12)

(ライフスタイルコンセプト スライド23)

人口減少に歯止めをかける施策や事業を今すぐ実行すべきなのは、日本全国どこの自治体も同じです。少子高齢化社会で将来を悲観するような意見や現状分析から抜本的な解決策を見つけようとするこれまでのやり方ではなく、様々な問題(制約)を受け入れた上で、そうならないためにあるべき未来の姿、心豊かな将来像を移住定住子育て支援の観点から描きました。あるべき未来の姿から逆算して中間年でどこまで実行し、今から何をしなければいけないのか考えました。

このプロジェクトチームの提言については、今後、第3期総合戦略を策定していく中で、有識者の皆さんや村づくり懇談会などのワークショップで公開を予定しています。人口減少に歯止めをかける施策については、待ったなしの状況ですので、プロジェクトチームからあげられた提言の中で、すぐにでも実行できる施策については各課の事業に取り入れていくことで、若い人達の村への愛着度を上げていきたいと考えております。

また、アンケート調査については、子育て世代だけでなく、単身者や独身者も含めて意見を聴取できるようにウェブアンケートなどの方法を検討します。

座談会については、村内の20代から30代を対象として令和2年度から若者未来創出会議を開催していますが、なかなか参加者が増えない現状があります。

若い人達が参加しやすいテーマでの座談会について、委員の皆さんからもご提案いただきながら、官民協力して進めて行きます。

【会長】

事前にあげた質問、意見等以外に、その他意見等はありませんか？

(委員からの意見なし)

【会長】

それでは次第③今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

(③今後のスケジュールについて事務局から説明)

【事務局:宇佐見】

次第③今後のスケジュールの前に、見直しシートの内容について一部修正したい旨説明。

見直しシート19ページ、23ページについて、方向性を「廃止」から「維持」に修正し、令和5年度からは商工観光係ではなく村づくり推進室が担当するようにします。

【会長】

見直しシート23ページの地域ポイント事業について説明をお願いします。

【事務局:矢吹】

今回の第2期総合戦略では「地域経済循環」についてプロジェクトになっております。以前より鮫川村に伝わる「結」の精神、自助、共助などに地域の商店で、商品券のように使えるポイントを付与していきたいと考えています。

例えば、草刈りボランティアに参加したら200ポイント、高齢者のお宅のゴミ出しをしてあげたら、ポイント付与などをです。

現在村では、自分の目標を決めて、それを達成することにより、ポイントに換算し、村内で使える商品券を村で支給する「健康ポイント事業」を実施しています。それと連動して、自助・共助のポイントを付与し、地域経済の循環も出来るような事業を今年度検討しています。

【会長】

その他、委員のみなさんから意見ありますか。

【入江委員】

プロジェクトチームの取組については、未来思考のやり方であり素晴らしいと思います。今後の計画策定にもぜひ活かしていただきたいです。

地域通貨については、世田谷区でも実施しています。村で独自に取り組んでいくということで、ぜひ取り組んで欲しい。

③今後のスケジュール

【事務局:宇佐見】

資料1の裏面をご覧ください。会議の冒頭でも説明しましたが、本日の有識者会議の意見等を受けまして、各取組みについて、6月下旬をめどに担当課で評価シートの再検討を行います。

その後、村づくり推進室で総合戦略の効果検証結果について最終確認し、村ホームページ等で公開します。公開は7月旬を予定しています。

【会長】

それでは本日の議事はここまでとさせていただきます。質問も多数ございましたし、評価検証についての意見もたくさんいただきました。これらは事務局と私で数週間のうちにまとめた上で、村のホームページ等で効果検証結果の公表をしたいと思います。修正案等は会長に一任いただくということでよろしいでしょうか。

【全員】

了承

【事務局:室長】

それでは以上をもちまして、令和5年度第1回鮫川村まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議を終了いたします。本日は長時間にわたり御審議いただきまして、誠にありがとうございました。

6. その他

7. 閉会

以上、この会議録が正確であることを証します。

令和 5 年 6 月 13 日

議 長 薄葉正勝

会議録署名人 石井 哲

会議録署名人 阿久津光市